

イエス・ヤイドロン・トス神の霊言 (2019年12月7日収録)担当: 石田昭 2020年2月16日

- 1 **イエスの霊言**: 自分にとってつらい一年。共産思想の中にもキリスト教的な『弱者は神に愛される』という思想があり、両者間の世界的対立で矛盾がおきている。香港の問題が「何が正しいか」を判定する世界の指標になった。(RAGの中国の軍事行動警告以来事態が急変)
- 2 結論的には、香港の自由の火を守らないと大きな不幸が世界に広がる。中国発不況発生。
- 3 軍事的なバランスの問題もあるが、基本的には地上に「信仰者が増えるか否か」の問題。
(コロナウィルスの免疫は信仰心である。中国の攻撃準備完了を察知し、宇宙的な介入に入った。RAG)
- 4 中東問題には日本がバランスをとる役割があるが、現実的な解決能力はほとんど無い。
- 5 **ヤイドロンの霊言**: 不当・不正な目的で妨害しに来るものに対し「聖なる怒り」が弟子に少ない。「総裁を護る組織」になっていない、逆に養ってもらう意識がある。「太陽の法」でスペースピープルが提案した事態が現実となっている。(仏陀は「その必要な無い」と拒否。)
- 6 教団が本当に戦っている敵にたいして、極めて能天気・無防備である。これでは護りきれない。(中国にも別のSPが後ろにいる。知恵比べだが、HSを護るSPが本流、RAGは日本を護る)
- 7 この十年の活動で知名度は上がったが、不十分。勇気ある指導者が各部門に必要。弟子はぶら下がっている。(エルカンターレの法は30%しか説かれていない。現状では説けない。RAG)
- 8 国家レベルでの対決問題に入っているが、弟子の現実処理能力が低い。クレーム処理など総裁を天草四郎にしてしまう危険性があり、「もう少し控えるように」と言うしかない。
- 9 違う惑星から来た者達が「幸福の科学の外護団体」として近年姿を現し、護っている。
(E.L.C.にかつて指導を受けたメシア星の軍団、司令官の一人。ヤイドロンは違うがRAGは攻撃担当、時間を止めてその間に対処することも可能。ロシアの隕石落下時のUFOの働きのようなことか?)
- 10 弟子を護るために、食言しないで言葉を差し控え、時間を先延ばし、「E.L.C.の素を出さないでやり続ける」というのは一定の限界あり。これでは、残り7割の法は説けない。
- 11 信仰心が弱い。「六大煩悩の反省」で「三毒と慢」はOKでも、「疑」と「悪見」の反省が不足。(仏の計画に思いを合致させる習慣が不足している。地上的な自己中心的事情優先主義か?)
- 12 SPのほうが信仰心が高いのは、恥ずかしいのではないかと。警備は厳しくなっていて、救急医が仮眠を取っているような状態。この一年間仕事の9割は生霊対策である。(地位を狙ってくる)「生霊を説教できない」「まともな弟子がいない」「責任を取って発信し意見を言う」機能が極めて低い。「総裁の仕事が進むようにする人」が上に立つ組織にするべし。
- 13 弟子の心がこの世的な夾雑物、迷い・間違いに染まっているから、法が伝わらない。
- 14 **総裁**: 発言がもう国家レベルにまで踏み込んでいるのに、弟子のレベルがついてきてない。もう一段、組織として切れ味と機動力と強靭さが無いと駄目、足を引っ張っている。
- 15 **トス神の霊言**: どこかが浮沈するのは運命というオーディン神の説は? 明確な回答無し。
- 16 CO2が増え、雨が多くなればれば砂漠が緑化する。科学的に見てグレタは間違っている。
- 17 中国の今後、十年以内にひっくり返る。秘密情報が露出する。(今回の感染で情報が漏れ、反政府感情が噴出。トランプ氏のイラン攻撃は陽動作戦、隙を見せて中国の攻撃開始を狙った? 中国は攻撃態勢を完了し、軍は命令を待っていた。RAGが介入した。生物兵器の研究上の事故、しかし、隠蔽。
- 18 LGBT問題はやがて、「赤狩り」のような動きになる。唯物論が入っているから、排除。
- 19 石油のでるイスラムにも問題、反ホメイニ革命(近代化)があるかも。「脱石油」時代が到来するかも。トランプは基本的に正しい。アメリカはトランプと組んで十字軍をやる。
(RAG: 米国文明の終わり、西海岸に天変地異が相当数連続して起きる。E.L.C.のG.E論をなめてる。)